

# 安保破棄ニュース

No. 458  
2015.6.5

## 安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三-〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三  
TEL 〇六-六七六-三三三三  
FAX 〇六-六七六-三三三六  
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp  
●ホームページ http://www.anpo-osk.jp

# 辺野古新基地建設 阻止のたたかい

新基地建設反対名護共同センターから

福山功勝さん

5月17日から31日まで、安保破棄大阪実行委員会からの派遣として、新基地建設反対名護共同センターへ、福山功勝さんにオルグへ行ってもらいました。福山さんが、共同センターでつくったニュースと、電話インタビューでお聞きした話をまとめました。

## オール沖縄をオール日本に広げよう

5月17日に名護セルラースタジアムでの「県民大会」は、3万5千人が集まり大成功でした。なかでも、オナガ知事の最後の発言が話題を独占。「ウチナーンチュ、ウシエーターナイピラント！」（沖縄人をないがしろにしてはいけませんよ！）に県民の心は一気に爆発しました。スタンディングオペレーション。鳥肌が立ちました。日本の民主主義最前線だと思いました。沖縄の積み重ねてきたたたかいの奥深さを感じました。

3つの「つ」がここにある。つみかさね、つながり、つよいきずな。これによって沖縄が変わった実感がありません。

翌日の、沖縄タイムス、琉球新報には、この集会の写真が見開きで載りました。沖縄のマスコミは人民の側に立って報道しています。

## 「切れ目なく」集まるゲート前座り込み

県民大会後ゲート前はますます元気です。連日全国各地から、座り込みに参加する支援者の笑顔が素敵です。道沿いに並ぶ青いテント、カラフルな幟、路肩には日々白いテップウ百合の切花が置かれ、「演説舞台」は準備万端。参加者が次々にマイクを取り、熱く生き生きとしたコメントが続きます。頷き、涙ぐみ、最後は大きな拍手で励ましあう光景。沖縄に学び、沖縄から学んでいます。



キャンプシュワブゲート前座り込み

一緒に座り込みをして、じつと見ていくだけで、人生観が変わります。ストレスなどでうつ病になって

いた子どものいる人から、その子がここに座り込みを3日間していたら、「薬飲まなくてよくなった。」と言う話も聞きました。現地に来てわかる「ライブ」の魅力。「はまりそう！」そんな叫びが至るところで聞かれる場所。それが辺野古であり座り込み現場です。

この感動を広げるためにリピーターを増やし、支援者を増やしていきます。そして全国へ全世界へ発信してゆきましょう。

## 熱気にあふれた「島ぐるみ会議名護」の結成総会

「沖縄建白書」を実現し未来を拓く「島ぐるみ会議名護」の結成総会が、6月25日、名護市民会館中ホールで開かれました。会場は400人を越える参加者で超満員。熱気溢れるものとなりました。呼びかけ人を代表して、松田藤子（二見以北住民の会代表）さんの挨拶があり、その後、これまでの経過報告や規約・活動方針等について提案があり、満場の拍手でもって承認されました。

個性豊かな共同代表の面々十二人の共同代表のリレートークは、これまでの闘いの積み重ねを反映して、それぞれの立場から、逞しく力強く、そしてユーモアに満ちた発言が続きました。会場は笑いど口笛と拍手に包まれ、沖縄の人間を、人間として扱おうとしない政府への痛烈な批判と共に、「ウマンチュ」の揺るがぬ誇りを互いに確認する場となりました。

なかでも、「これまで私は保守を応援してきた人物です」と切り出した岸本正共同代表の発言にひと際大きな拍手が送られました。

「五人の自民党国会議員が、公約を裏切った姿を見た時に涙が出ました。私は反省しました。子ども達に残すのは金ではなく、豊かな自然であり、人間としての誇りです。新基地は造らせてはなりません」。会場には結成されたばかりの「仲尾次区平和を守る会」の横幕が張られ、運動が行政区にも広がっていることも紹介されました。



## 5月23日 宣伝行動

5月の大阪安保定例23宣伝行動を22日に行いました。13人の参加で、210枚のビラをまきました。

立ち止まり署名をする人、色々と思いを話す人、自転車の乗りながらもビラを受け取る人など、情勢を反映してか、通行人の反応から、関心が増してきていると感じます。

6月の23宣伝行動は、23日に、昼の

12時から13時まで、淀屋橋で行います。短時間でも可能な方にご参加ください。



# 「毅然とした民意」 をしめそう

住民投票に対する活動を振り返って



平和友好団体共同行動でのスポット宣伝

「ふわっとした民意」と「大阪市住民投票」

橋下大阪市長が今回の住民投票を「憲法改正の予行演習のようなもの」と言い、私たち平和友好団体などは、「大変なことになると危機感を持ってこの住民投票をたたかいました。僅差でしたが、予行演習が失敗し、本格的な憲法改正の国民投票が大阪の地から発信できなくなったことは、本当に喜ばしいことです。」

もともと「大阪市をよくする」にはどうするかが問われた選挙ですが、市民の理解が不十分なまま住民投票に突っ込んでいきました。橋下氏はよく「ふわっとした民意」と言う言葉で、自らの独裁的な手法や体質を包含させてきました。実はこの手法は、現在進行している安倍政権の「戦争法案」でも同様なのです。

国会審議で、答弁を求めていなくても安倍首相が長々と答える姿とよく似ています。「国民のいのちや財産を守る」ことの強調と国民が危惧するようなことに首相の私は採用しないと言い切ります。法律で「事態」が起こる蓋然性や自衛隊出動の判断を問うているのに、一般論で逃げています。これで「戦争法案」の意味が、国民に明らかになるのでしょうか？

国会の勢力は圧倒的多数で与党が優位ですが、「ふわっとした民意」を理由に通させるわけにはいきません。戦後最悪の法案を「毅然とした民意」で廃案にしましょう。

## 当面の予定

- 2015年  
6月  
7日(日) 大阪弁護士会主催  
「海外派兵許すな」集会&パレード  
(15:00~扇町公園)
- 13日(土) 「ストップ安倍政権!6・13大集会」  
(東京臨海防災公園)
- 14日(日) 大阪母親大会(エル大阪)  
19日(金) 青年沖縄ツアー実行委員会準備会  
(19:00~大阪平和委員会)
- 20日(土) 自衛隊を活かす会主催学習会  
「日本は危なくなる」(13:30~福島区民センター)
- 23日(火) 23 定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)  
STOP!安倍政権  
「戦争法案」反対!6・23 府民集会  
(18:30~扇町公園)
- 24日(水) 『戦争する国づくり』反対「辺野古新基地建設工事中止・普天間基地無条件撤去」  
署名国会提出行動
- 25日(木) 大阪安保50年史編纂委員会(14:00~)  
26日(金) ~29日(月)  
「大阪安保の沖縄支援ツアー」
- 7月  
1日(水) 常任幹事会(10:00~大阪安保)  
12日(日) ~14日(火)  
安保中央主催沖縄支援・連帯ツアー  
18日(土) 「原爆投下直前のパンプキン爆弾投下」  
の真相に迫るつどい  
(14:00~ドーンセンター)

### 『戦争する国づくり』反対 「辺野古新基地建設工事中止・ 普天間基地無条件撤去」 2つの署名、提出のお願い

現在、国会では「戦争法案」の審議が行われています。その中で、この法案の危険性がみえると明らかになっています。

しかし、政府は6月24日の会期末を延長してでも、今国会でこの法案を通してしまおうと執念を燃やしているようです。

安保破棄中央実行委員会では、会期末を迎える6月24日に、署名国会提出行動を行います。

大阪として、現在集まっている署名を6月19日までに集約しますので、それまでに大阪安保までお届けください。

## 「戦争法案」 阻止



5月27日の実行委員会

『戦争法案』反対!  
6・23府民集会を  
成功させよう!!

5月27日(水)に、6・23府民集会実行委員会の結成総会が行われました。団体の多くが、街頭に出て宣伝行動を強化しています。通行人の多くから、反対の声が寄せられ、署名に応じてくれることが報告されています。また、パレードなど具体的な抗議行動への参加をしたいという声も出ています。こうした中で、国民大運動大阪実行委員会、憲法会議共同センター、安保破棄大阪実行委員会の3者で、6・23府民集会を開催することは大きな意義があります。同時に、

この前後に職場・地域から宣伝行動や集会・デモを旺盛に行い、「戦争法案」反対の声を広げることです。私たちの運動よりも市民や若者から反対の行動をしようと言う積極的な声の方が強いという意見もあります。民主勢力の存在価値も問われるものですが、府民に集会への参加を呼びかけ、6・23集会など組織を進めることと中央の幅広の反対を追求している総がかりの運動を大阪でも追及していくことが求められています。

6月7日(日)15時から扇町公園で実施される大阪弁護士会の集會に参加していくことも重要になっています。